

平成26年度
北広島市保健福祉計画検討委員会
第3回 地域福祉部会

日 時：平成26年11月27日（木） 午後6時30分～午後7時15分

場 所：北広島市中央会館 2階 学習室

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：小早川委員（部会長）

鈴木委員

大谷委員

小池委員

大西委員

前田委員

板垣委員（障がい福祉部会長）

欠席者：川島委員

谷内委員

三瓶委員（高齢福祉部会長）

◇事務局

徳村保健福祉部次長

木下福祉課長

及川健康推進課長

林福祉課主査

上森健康推進課主査

影久健康推進課主査

佐々木福祉課主任

十河健康推進課主事

◇傍聴者 0名

《議事概要》

1 開会

2 部会長挨拶

3 協議事項：

(1) 第4期地域福祉計画（素案）について

事務局：第4期地域福祉計画（素案）について説明

部会長：素案の内容について、質疑、意見等はないか。

委員：73ページの災害時の件で、北広島市において考えられる災害の事案はどのようなものが考えられるか。

事務局：今年9月にもあった大雨が考えられ、標高の低い市役所付近は30数年前にも災害があった、大曲などの西部地区は、がけ崩れが懸念される。地震は全域で災害の可能性がある。津波の想定はしていない。

委員：竜巻などはどうか。20年くらい前に大曲で住宅5~6軒が被害を受けているが。

事務局：竜巻自体はどこで発生するかわからないため、気象庁からの注意報などが出た場合には、極力頑丈な建物に避難することが初期対応として考えられる。

委員：大雨の心配は、輪厚川が中心となるのか。

事務局：輪厚川、千歳川などが考えられる。

委員：北広島に活断層はあるのか。

委員：西の里の下の方にあるという説明があった。

委員：災害マップのようなものはあるか。

事務局：総務部の危機管理課で災害の対応をやっており、今日の段階ではまだわからない。

委員：がけ崩れに関してはどうか。

事務局：がけ崩れに関してはハザードマップが用意されていたと思う。

委員：62ページの高齢者の孤立死の体制整備に関して、地域や自治会の役割に関する記載がないが。

事務局：見守り事業というのがあり、新聞配達の際に新聞がたまっている、郵便配達の際に郵便物がたまっている、あるいは昼間なのに電気がついているなど、業務上気づいた時に連絡頂く方式はある。

委員：新富町では高齢者支援センターが中心となって活動しているが、もっと増やせないか。

事務局：高齢者支援センターは市内に4か所あり、地域助け合い会議で地域の方や関係機関と連携を図っている。配置人員を増やすなど体制を整備しており、箇所数を増やすことは考えていない。

委員：高齢者支援センターの範囲が広いので、人員を増やし、こまめに見て回れる体制を整えて頂けるようお願いしたい。

委員：新聞配達の人知らないという人もおり、末端まで浸透しているのか。また、通報を受けた事例はあるのか。

事務局：市からお願いをしてネットワークを組んでおり、実際に通報を受けた事例はある。

部会長：第4期地域福祉計画（素案）について、承認ということでよいか。

（異議なし、承認）

(2) 健康づくり計画（第4次）の素案について

事務局：健康づくり計画（第4次）素案について説明

部会長：素案の内容について、質疑、意見等はないか。

委員：子宮頸がんの予防接種で副作用が出たと聞いたが、北広島市ではどうか。

事務局：2件あり、1件は良くなったと聞いているが、もう1件は確認が取れていない。

委員：う歯罹患率が高いという報告があったが理由は何か。具体的対策はあるか。

事務局：フッ化物の塗布や洗口の取り組みにより、う歯罹患率を下げていきたいと考えている。

部会長：健康づくり計画（第4次）素案について、承認ということでよいか。

（異議なし、承認）

4 その他

部会長：その他について事務局から連絡事項等はないか。

事務局：今後のスケジュールについて、平成26年12月2日の全体会議の前にもう一度部会を開くかどうかについてであるが、本日の素案の承認を受け、部会を開かないといこと
でよろしいか。

（異議なし、承認）

事務局：現在のところは、予定どおり午後7時30分から会議を開く予定であり、もし変更があればご連絡するという事にしたい。

5 閉会